

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	新人看護職員研修推進費			担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	看護課	課長：岩澤 和子			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」				
主要政策・施策	男女共同参画			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新人助産師及び新人看護師に対し、必要な姿勢及び態度並びに知識、技術について十分な指導体制及び研修プログラムに基づく研修を行い、また、新人助産師の実地指導者及び新人看護師の教育担当者に対し、卒後教育の考え方、方法論、教育研修指導としての実践等を系統的に研修させ、保健師、助産師及び看護師の資質向上及び医療安全の確保を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新人看護職員研修に関するガイドラインの普及を図り、病院等において新人看護職員卒後研修の着実な実施を促進する。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	6	5	6	5	0		
	執行額	5	4	4.4					
	執行率(%)	83%	80%	73%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	新人看護職員がいる病院における新人看護職員研修の実施率を100%とする。	新人看護職員がいる病院における新人看護職員研修の実施率	成果実績	%	-	97	-	-	-
		※医療施設静態調査(3年ごと)による	目標値	%	-	100	-	-	100
		※前回(23年度)調査時の成果実績は94.6%	達成度	%	-	97	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	国庫補助による新人看護職員研修実施施設数	活動実績	か所	2,414	-	-	-		
	※26年度以降は国庫補助から都道府県による実施に移行	当初見込み	か所	2,468	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	新人看護職員研修実施病院数	活動実績	か所	-	4,774	-	-		
	※医療施設静態調査(3年ごと)による。 ※前回(23年度)調査時の活動実績は4,490か所 ※次回(29年度)調査時の活動見込は4,774か所	当初見込み	か所	-	4,490	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	・単位当たりコスト=X/Y	単位当たりコスト	円	-	917	-	-		
	X: 予算執行額 Y: 新人看護職員研修実施病院数	計算式	X/Y	-	4,379,973円 / 4,774か所	-	-		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0							
	職員旅費	0							
	委員等旅費	0							
	庁費	5							
	計	5	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること								
	施策	医療従事者の資質の向上を図ること(施策目標I-2-2)								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
		看護師等における講習会・研修会等の修了者人数	実績値	人	-	-	-	-	-	
			目標値	人	14,315	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	新人看護職員がいる病院における新人看護職員研修の実施率を100%とすることで看護職員の資質の向上を図る。									
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
	項目			評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	看護職員の資質向上は医療安全の確保にもつながることから社会のニーズを反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	看護職員資質向上施策の実施にあたっては「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととされている。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	看護職員の資質向上は医療安全の確保のためにも優先度が高い。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	事業の実施に必要な最低限の経費のみを計上しているため、妥当な水準にあると考える。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-						
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	新人看護研修の推進に必要な経費に用途が限られている。					
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	当初、外部講師を招聘して新人看護師の教育担当への講習を予定していたが、27年度においては職員で実施できる内容としたため、謝金や委員等旅費が削減されている。					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	事業の実施に必要な最低限の経費のみを計上し、コストの削減に努めている。					
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	26年度の成果実績は僅かに目標である100%を下回るものの、97%という高い水準にあり、前回調査時(94.6%)と比較しても増加している。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-						
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は見込を超えている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-						
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名							
点検・改善結果	点検結果	成果実績、活動実績ともに概ね目標、見込を満たしており、引き続き実施する必要があると考える。								
	改善の方向性	新人看護職員がいる病院における新人看護職員研修の実施率を100%とするため、引き続き必要な予算を確保し、適正な執行を行ってまいりたい。								

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	97	平成23年度	80	平成24年度	59		
平成25年度	48	平成26年度	53	平成27年度	56		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
4.4百万円

〔新人看護職員研修の着実な実施の促進に係る経費〕



A. 事務費
4.4百万円

〔期間業務職員賃金、新人看護職員研修ガイドラインの見直しの検討に係る経費等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

